

## 平成 21 年度第 6 回規制改革会議議事次第

1. 日 時:平成 22 年 2 月 19 日(金)15:00～15:15
2. 場 所:永田町合同庁舎 1階 第1共用会議室
3. 出席者:

(委 員)草刈隆郎議長、八田達夫議長代理、浅見泰司、有富慶二、翁百合、小田原榮、  
中条潮、福井秀夫、本田桂子、松井道夫 各委員

(政 府)枝野大臣、大塚副大臣、田村政務官

(事務局)松山政策統括官、小田室長、吉田参事官、鈴木室参事、越智企画官、  
駒井企画官、山本企画官

4. 議 題:今後の規制改革推進に向けて
5. 議事録:

草刈議長 それでは、定刻になりましたので、会議を始めたいと思います。平成 21 年度第 6 回ということになります。

今日は、お忙しい中、つい先ごろ内閣府特命担当大臣に御就任されて、規制改革を御担当されることとなられました枝野大臣にわざわざお越しをいただきました。それから、大塚副大臣、田村政務官にも御出席をいただいております。

会議側は、川上さん、木場さん、富山さん、米田さん、安念さんの 5 名の方が御欠席ですが、会議成立の要件を満たしています。私から最初に一言申し上げて、その後、大臣からお言葉をいただきたいと思います。

何はともあれ、3 年間、大変に御苦勞様でした。ありがとうございました。本日のこの最後の規制改革会議をもって我々の活動はすべて終了ということで、当会議は実質的に、解散と言うとあれですけれども、役割を終えたということにさせていただきたいと思います。

ただ、公式な会議の終結、あるいは委員の任期終了については、行政上の手続が若干ございますので、これは政府の決定を待つことになります。これは形式論でございます。その間、未決の議事録の整理等々、まだやらなければいけないことについては、是非、残務を事務局と連携してよろしくお願ひしたいと思います。

さきの慰勞会でも私から申し上げましたけれども、皆様の本当に多大な自己犠牲によって、言わば世のため人のために大きな貢献をしていただいたにもかかわらず、大変プアーな成果に終わってしまったということで、ひとえにこれは私の非力とリーダーシップの欠如によるものでございます。この点は皆さんに深くおわびをしたいと思います。

と同時に、委員、専門委員、事務局の皆様には、この 3 年間に流された貴重で、かつ、大量の汗と粘り強い努力に深甚の敬意と心からの感謝を申し上げる次第です。

今後の規制改革の受け皿については、後刻、大塚副大臣から記者会見で公表されるというふうに伺っておりますが「あじさい・もみじ」の拡大版である「国民の声」、それから、規制・制度改革、更には構造改革特区、そして、いわゆる「市場化テスト」、こういうものの一体運営で構成される

組織が、勿論、枝野大臣の下で大塚副大臣をヘッドにして構築されるというふうに承知をしております。その新組織の中で、これまで委員、専門委員の皆様が蓄積されました貴重な知見と、それから、うっせきしているマグマが直接・間接に日の目を見ることに早晩なるというふうに信じております。

いずれにしましても、今後は政治主導ということでございます。我々民間人は、そのサポート役として大いに貢献をしたいと考えております。ただし、政治主導という以上、政治家の責任は極めて重いと思います。これまでのような政治の責任放棄、逃げの姿勢というものは許されないはずであります。規制改革における政治主導こそ政権交代の意義を問うリトマス試験紙ではないかというふうに私は認識しております。突破力とお手並みを大いに期待をしつつ、私たち、今度は国民の目線で厳しくウオッチをさせていただいて、評価をさせていただきたいと思っておりますので、何分よろしくお願いを申し上げたいと思います。

私からは以上でございます。

それでは、続きまして大臣、恐縮ですが、一言お願いいたします。

枝野大臣 このたび内閣府特命担当大臣を拝命し、規制改革を担当することとなりました枝野幸男でございます。よろしくお願いをいたします。

経済成長のためには、規制の在り方を時代に併せて見直していくことが求められております。

また、規制改革は、単に規制をなくすことだけではなく、明確なルールに基づいて規制すべきは規制するということも重要であると考えております。

ルールや制度を変え、知恵を出すことで、国民の安全・安心を確保しながら、成長を促していくため、新成長戦略を踏まえて、環境分野のいわゆるグリーンイノベーション、医療分野のいわゆるライフイノベーション、そして、農業による地域活性化等を重点分野として進めてまいりたいと考えております。

政治の方の状況の変化によって、組織形態その他、皆様には御迷惑をおかけいたしますが、今後は行政刷新会議の下に分科会を設置いたしまして、これまでの本会議の成果も生かし、また、先ほどの草刈議長のお言葉もしっかりとかみしめまして、規制改革の推進に取り組んでまいり所存でございます。

規制改革会議委員の皆さんには、これまで多年にわたって規制改革の取組みに多大なる御尽力をいただきました。この場を借りて、これまでの御尽力に心から担当大臣として御礼を申し上げます。あいさつとさせていただきます。

本当にありがとうございます。

草刈議長 どうも、大変ありがとうございました。

それでは、メディアの方は終わりにしてください。

(報道関係者退室)

草刈議長 今日は田村政務官においでいただいておりますので、時間も余りなくて恐縮ですが、一言お話しただけですか。

大塚副大臣はさっきお話しいただいたので、後で御説明だけお願いします。

田村政務官 どうもお疲れ様でございます。政務官の田村謙治でございます。

先ほど副大臣もお話しになりましたが、思いは同じでございます。また、今、議長のごあいさつにもありましたように、まさに政治主導でこの新しい政権をちゃんといろんな形に変えていくということでありまして、それは我々担当三役がしっかりと責任を持って、皆様の御提言を生かしながら各省庁の三役とやりとりをしていく。それによって規制改革を実現していく。その強い思いを持っておりますので、どうぞ引き続きよろしく申し上げます。

まずは、この会議、長年御尽力をいただきまして、本当にお疲れ様でした。

草刈議長 どうもありがとうございました。

それでは、大塚副大臣から今後の規制改革の進め方について、簡単で結構なので、皆さん、この後、どういうふうになるかということで大変に関心を持っておられると思いますので、一言お願いをしたいと思います。よろしく願いいたします。

大塚副大臣 お疲れ様でございます。大塚でございます。どうぞよろしく願いいたします。

今後の運営については、まだ最終決定ではありませんけれども、現状考えている骨格は後ほど記者会見でも発表させていただきますので、今、かいつまんで申し上げますと、規制改革会議という名前も変えさせていただきますまして、規制改革分科会。これは行政刷新会議の下に置かれる組織になりますので、行政刷新会議の下に規制改革会議というのも何か会議の事情でいかがかと思ひまして、規制改革分科会ということになります。

分科会の運営は、草刈議長からお話もありましたように、政治家が責任を持って推進できるような体制にさせていただきたいというふうに思っております。人選については、今後、大臣との御相談の下で決めさせていただきたいと思っております。

また、今の大臣のごあいさつの中にもありましたが、その分科会の下にとりあえず3つのワーキンググループを置くことを念頭に置いております。

1つは環境、クリーンイノベーションワーキンググループ。

2つ目は生命科学、ライフイノベーションワーキンググループ。

もう一つは農業・食糧ということで、一応、農業といいますが、アグリイノベーションワーキンググループということになっておりますが、この3つに収まり切らないものが出てきたときにどうするかという問題がありますので、現状はその3つを想定しているということでございます。

そして、このそれぞれのワーキンググループと親会議になります分科会の下に民間有識者の皆様方にお入りをいただいて、御議論いただくということなんですが、これまで御尽力いただきました規制改革会議の皆さんとの連続性の問題をどうするかということについては、また大臣と私どもで議論をして最終的に決めさせていただきたいと思っております。

もっとも、先ほどの運営委員会で申し上げましたとおり、まだ十分にこれまで御尽力いただいた皆さんから私たち自身が知見を吸収させていただき切れっておりませんので、少なくとも大臣はほかにもいろいろ担務がございますし、あれなんです、私の段階でフォローアップの御意見を伺う機会を是非設けさせていただきたいと思っております。

また、先々、今、申し上げました親会の分科会と、その下のワーキンググループだけでいろんな

物事を推進するパワーが足りないという局面になってまいりましたときには「規制仕分け」という言葉がいいかどうかは別にして、そういうような何らかの動きも出てまいりまして、そういう場面では更に大勢の方に御協力をいただかなくてはならないこともあろうかと思っております。

現状、イメージできているフレームはそういうことでございます。もし大臣の方で何かございましたら、お願いいたします。

枝野大臣 いえ、特にありません。

大塚副大臣 私からは以上です。

草刈議長 それでは、もう少し、2～3分時間がありますので、何か御質問があったらしてください。

今から記者会見をおやりになるということなので、そこでもう少し詳しいお話をされるのかというふうに思っておりますが、いずれにしてもそういう形で、我々のやってきたことを引き続いてやっていただける受け皿はきちんとやっていただけるということなので、安心をしていただければと思います。

事務局から何かありますか。

吉田参事官 いえ、特段ございません。

草刈議長 それでは、大変にいろいろとありがとうございました。慰労会を先にやってしまったのであれなんですけれども、これをもちまして、実質的な会議としてはこれで終わりということにさせていただきます。本当に長いことありがとうございました。今日はこれで終わりにします。

ありがとうございました。

枝野大臣 本当にありがとうございました。